

日本骨髄バンクの現状（平成 22 年 11 月末現在）

	10 月	11 月	現在数	累計数
ドナー登録者数	4,497	3,339	374,857	485,125
患者登録者数	188	242	2,862	31,635
骨髄移植例数	120	92	-	12,416

■20 歳未満のドナー登録者数

11 月 187 人
合計 13,832 人（17 年 3 月～）

■51 歳以上のドナー登録者数

11 月新規 146 人
延長 248 人
合計 20,706 人（17 年 9 月～）

■11 月の区分別ドナー登録者数：献血ルーム／1,132 人、献血併行型集団登録会／2,018 人、集団登録会／69 人、その他／120 人

注）数値は速報値のため訂正されることがあります。

1 非血縁者間末梢血幹細胞移植診療科・採取施設認定について

現在、非血縁者間末梢血幹細胞移植診療科・採取施設の認定を行っています。これまで全国で 20 施設から申請があり、12 施設については施設訪問、審査ともに完了しました。認定された 12 施設は以下のとおりです。今後の新規認定施設の情報につきましては、骨髄移植推進財団のホームページにて随時公開していく予定です。なお、平成 23 年 1 月には、非血縁者間末梢血幹細胞移植関係を中心にホームページがリニューアルされる予定です。

◆非血縁者間末梢血幹細胞移植診療科・採取施設（認定順）

・移植診療科

名古屋第一赤十字病院 内科
大阪市立大学医学部附属病院 血液内科・造血細胞移植科
倉敷中央病院 血液内科
福島県立医科大学附属病院 血液内科／小児科・臨床腫瘍センター小児腫瘍部門
久留米大学病院 血液内科
北海道大学病院 小児科／造血細胞治療センター
九州大学病院 第一内科／第三内科／小児科
安城更生病院 血液・腫瘍内科
名古屋大学医学部附属病院 血液内科／小児科
富山県立中央病院 内科
慶応義塾大学病院 小児科／血液内科
東京都立駒込病院 造血細胞移植チーム

・採取施設

名古屋第一赤十字病院
大阪市立大学医学部附属病院
倉敷中央病院
福島県立医科大学附属病院
久留米大学病院
北海道大学病院
九州大学病院
安城更生病院
名古屋大学医学部附属病院
富山県立中央病院
慶応義塾大学病院
東京都立駒込病院

2 来年 1 月からドナー登録会の説明が変わります

新規ドナー登録者については、来年 1 月から新たに末梢血幹細胞移植の説明が加わります。これに伴い、「チャンス」や「解説グラビア」、DVD「骨髄ドナー登録希望者の方へ」等の資料も変更になります。これらの資料は年内に説明員の皆さまや登録窓口等に送付されます。

3 川井郁子スペシャルチャリティーコンサート

11 月 25 日（木）、テレビ等でも幅広く活躍しているバイオリニストの川井郁子さんが世界三大テノールの一人、ホセ・カレーラスさんをゲストに迎え、神戸国際会館こくさいホールでスペシャルチャリティーコンサートを開催しました。コンサートの中では骨髄バンクの紹介も行われ、



高い音楽性と白血病に対するチャリティー活動という共通点を持つお二人の共演で、素晴らしいコンサートとなりました。また当日は、会場ロビーで募金活動も行われました。

4 読売巨人軍の骨髄バンク支援&越智選手、東野選手の病院訪問

■ジャイアンツファンフェスタ 2010

11 月 23 日（火）、東京ドームで毎年恒例のファン感謝イベント「ジャイアンツファンフェスタ 2010」が開催されました。グラウンド内で様々なイベントが行われる中、別室で桃井恒和社長から佐々木常任理事にご寄付をいただき、その様子がオーロラビジョンで紹介されました。

■越智投手、東野投手の病院訪問

12 月 14 日（火）、読売ジャイアンツの越智投手、東野投手が東海大学病院に入院中の子供たちを訪問しました。昨年に続いての訪問となる二人は、無菌室の子供たちへプレゼントを手渡したあと院内学級のクリスマス会に参加して、ゲームや合唱などで楽しいひと時を過ごしました。

5 藤川球児投手の病院訪問

12月10日（金）、阪神タイガースの藤川球児投手が昨年に引続き、大阪府立母子保健総合医療センターを訪問しました。藤川投手は院内クリスマスのシークレットゲストとして登場し、入院中の子供たちと一緒にクイズやゲームに参加しました。続いて血液内科の病棟を訪れ、子供たち一人ひとりにプレゼントを手渡しました。またクリスマス会終了後には、藤川投手から正岡理事長に「球児モバイルチャリティーオークション」の収益金をご寄付いただきました。

6 チャリティゴルフコンペ 他

■「ぐるなび 骨髄バンクチャリティーゴルフ大会」

「ぐるなび骨髄バンクチャリティーゴルフ大会」が12月6日（月）、戸塚カントリー倶楽部で開催されました。今年で6年目を迎える本ゴルフ大会には、各界から趣旨に賛同された100名を超える方々が参加しました。

■「中溝裕子骨髄バンクチャリティーゴルフコンペ」

12月3日（金）、当財団の評議員でもあるプロゴルファーの中溝裕子さんが、昨年に続いて骨髄バンクチャリティーゴルフを開催しました。女子プロゴルファーも含め100名以上が参加し、コンペ終了後にはチャリティーオークションなども行われました。

■日本骨髄バンクニュース第37号

日本骨髄バンクニュース第37号が発行されました。今回は浅野史郎氏へのインタビューの他、特集として前号と同様に「新しく始まった『末梢血幹細胞移植』とはどういうこと？」を掲載しています。

7 財団の会議開催予定

傍聴をご希望の方は、事前に財団事務局総務部までお申し込みください。

	公開・非公開	開催予定
常任理事会	公開・一部非公開	1月27日（木）17:30～ 廣瀬第1ビル2階会議室



コーディネーター関係者のコーナー

ここからは、調整医師、採取施設、移植施設およびコーディネーターの皆さまを対象としています。

8 同一ペアに対するDLI回数制限の変更（1回から2回に）

これまでDLIのための採血は「1回まで」に限っておりましたが、過去に移植施設から2回目のDLIの希望が出されたことを発端に、医療委員会、ドナー安全委員会で検討してまいりました。その結果、ドナーの方の安全性が保たれ、患者さんにも治療の機会が拡大する可能性があることから、今後は2回まで対応可能となりました。

なお、当面はA適応（EBVによるBLPD、CMLの再発）に限り可とし、2回目の申請があればその都度、医療委員会で審査させていただきます。

<2回目のDLI申請方法>

1回目の効果、2回目までの期間をお書き添えの上DLI申請書を財団の移植調整部へご提出下さい。医療委員会で審査をさせていただき、適応が認められればDLIコーディネーターを開始します。

<ドナーに対する説明書、同意書の一部変更について>

ドナーに対する「DLIに関するご説明書」および「DLI（ドナーリンパ球輸注）の採血に関する同意書」の一部を変更します。平成23年1月以降のDLI依頼について、改定後の帳票をお送りします。すでに送付済みのものについては差し替えの必要はありません。改定後の帳票見本は今号のマンスリーJMDPに同封しています。

(1) 「DLIに関するご説明書」の変更点

「12. この患者さんに対するDLI採血の依頼は原則として1回限りとさせていただきます。」に次の一文を追加。

「ただし、まれに2回目のDLI採血の依頼があった場合は、改めてご意向を伺います。」

(2) 「DLI（ドナーリンパ球輸注）の採血に関する同意書」の変更点

① 「4. 今回の血液の提供後、患者の経過等が知らされなくとも異議を申し立てません。」

⇒ 「4. 今回の血液の提供後、患者の経過等が知らされないことを了解しました。」

② 「5. 患者の経過に関わらずDLI採血は1回限りであり、以後同じ患者からの採血依頼はないことを確認しました。」

⇒ 「5. 患者の経過に関わらずDLI採血依頼は原則として1回限りであること、ただし、まれに2回目のDLI採血の依頼があった場合は、あらためて意向を確認されることを

9 骨髄運搬バッグのフィルター連結部のコネクターからチューブが外れた事例について

このたび、骨髄採取バッグ（フェンウォールインク製造、ボーンマロウコレクションキット 型式4R2107H）のフィルター連結部のコネクターからチューブが外れた事例が発生いたしました。

なお、本事例の原因等につきましては販売メーカー（パルメディカル社）に調査依頼中ですが、同様の事象発生について同社へ確認を行い、バクスター社から承継して以降、同様の事象の報告は受けていないとのこと。また、パルメディカル社では、接着が甘い可能性があるため、すでに同一ロットの出荷を止めたとの報告を受けています。（ロットNo. FA10C11090）

当面の対策につきましては、「骨髄採取キットは慎重に取扱い、使用前に破損・コネクターの緩み

がないかどうか十分に確認すること。」また「濾過フィルター使用中は、連結部のチューブとコネクターの状況を常に確認すること。」としております。

詳細につきましては、別紙「骨髄運搬バッグのフィルター連結部のコネクタからチューブが外れた事例（安全情報）※別紙 写真あり」をご参照ください。

10 「調整医師・認定施設連絡責任医師・コーディネーター合同会議〈仮称〉」の開催について

「調整医師・認定施設連絡責任医師・コーディネーター合同会議〈仮称〉」の開催を第 33 回日本造血細胞移植学会総会の会期中に計画しています。

詳細についてはマンスリーJMDP 1月号（平成 23 年 1 月 14 日発行）でのご案内となりますが、ご予定くださいますようお願いいたします。

＜開催概要＞（予定）

- ・日時：平成 23 年 3 月 10 日（木） 12：00～13：30
- ・会場：愛媛県民文化会館（ひめぎんホール）
- ・対象：調整医師・認定施設連絡責任医師・コーディネーター

※コーディネーター、地区事務局職員の方はブラッシュアップ研修会のプログラムに含まれます。

11 骨髄提供歴があるドナーの前回情報を移植施設および採取施設へお知らせすることについて（医師の方へ）

●経緯

採取担当医師より、1 回目の骨髄採取時に有核細胞が少ない（細胞濃度が低い）ドナーについて、今後のドナー登録を取り消していただくのが良いのではないかとのご意見をいただきました。これについて、ドナー安全委員会において審議され、骨髄提供歴があるドナーについて前回の骨髄提供時の細胞数に関する情報を、移植施設（※1）および採取施設へ情報提供することとされました。

（※1）現在は、希望があった場合のみ、骨髄提供履歴があるドナーの情報を移植施設に提供していますが、今後は、ドナー検索後一律に担当医師に対して情報提供します。

●対応方法

- ①骨髄提供履歴があるドナーが選定されたら、最終同意確認後に採取施設に情報提供します。
- ②採取報告書を一部変更します。
 - ・骨髄採取時の状況の記載欄を設け、細胞数が少なかった場合や採取困難であった場合にできるだけ詳しくご報告いただくこととなります。
- ③採取施設に対しては、1 月以降に選定されたドナーから順次対応します。

●参考（上記対応とした理由）

- 細胞数の情報のみで「ドナー不適格」とする（登録取消とする）ことは、現在の基準に照らして、困難であること（ドナーへの説明も困難）。
- 細胞数が少ないドナーであっても他にドナー候補者がいない場合や患者が小児の場合など、細胞数が少ない可能性があることを了承の上で患者側が選択するチャンスを残す必要があること。
- 採取計画量について移植施設が採取施設と相談する際に、患者の治療の観点 およびドナーの安全性の観点から有用であるため、移植施設と採取施設にドナーの前回情報を提供する必要があること。

12 自己血の有効期限について（医師の方へ）

このたび、非血縁者間骨髓ドナーの自己血採血後に、骨髓採取前に自己血が有効期限を超えてしまう事例が発生しました。当財団としては、当該事実を各採取施設に対して情報提供し、自己血の有効期限に関して注意喚起を行うこととしました。

ドナー安全委員会で再検討した結果、自己血の有効期限は採血後の時間ではなく、採血日を 1 日目として日数を算出することが確認されました。（例：20 日後は、21 日目になります。）

以上の報告を受け、本委員会は今回、以下を通知することとしました。

- 1) 自己血の日数のカウントについては、採血日を 1 日目とカウントすること。
- 2) 自己血バッグ有効期限ぎりぎりでの自己血採血計画をできるだけ避けること。

以上をご確認の上、ご対応をお願い申し上げます。

その他詳細につきましては、別紙「自己血の有効期限について」をご参照ください。

13 平成 23 年度調整医師再委嘱手続きについて（調整医師の方へ）

委嘱期間が平成 23 年 3 月までの調整医師の先生方に対して、来年 1 月中旬以降に、再委嘱に関する書類をお送りします。対象となる先生方には、ご多忙のところお手数をおかけしますが、お手続きのうえ、施設長の承諾書をご返送くださいますようお願いいたします。（委嘱期間が 2 年間の先生方につきましては、今年度は手続き不要です）

ここ数年、移植件数およびコーディネーター件数の増加に伴い、調整医師が不足しています。新しい調整医師の先生をご紹介いただける場合は、ドナー部までご一報くださいますようお願いいたします。申請書等は、当財団のホームページからダウンロードすることもできます。

また、業務委託契約制度にご関心がある場合は、地区事務局またはドナーコーディネーター部までお問い合わせください。

14 第 16 回コーディネーターブラッシュアップ研修会について（コーディネーターの方へ・第 2 報）

今年度のブラッシュアップ研修会に関しては、第 1 報としてマンスリー JMDP 9 月号でご案内したように、平成 23 年 3 月に愛媛県松山市で開催される第 33 回日本造血細胞移植学会総会に併せて開催します。スケジュール等、現時点で決まっていることをお知らせします。

■日程：平成 23 年 3 月 9 日（水） 移動日。到着後、学会参加自由。

*16：15～18：50 地区事務局・コーディネーションスタッフ会議

（出席者：CS、地区事務局・初期担当・ドナーコーディネーター部職員）

平成 23 年 3 月 10 日（木） 8：30～8：55 受付
9：00～11：30 学会参加
12：00～13：30 合同会議
13：45～16：40 開会式、研修
17：00～19：00 市民公開講座

平成 23 年 3 月 11 日（金） 8：30～12：45 研修

■場所：愛媛県松山市

愛媛県県民文化会館（ひめぎんホール）

- 注意事項 ①宿泊の手配は各自でお願いします。（実費を支給しますが、経費節減の見地からできるだけ宿泊パック等の割安なものをご利用ください）
- ②コーディネーター、地区事務局員、初期コーディネート担当職員は全員参加ですが、やむを得ず欠席される場合は、理由を明記して地区事務局経由、ドナーコーディネート部までご連絡ください。
- ③コーディネート以外の理由での 1 日のみの参加は原則として不可とします。ただし、3 月 10 日（木）13 時 45 分からの研修に参加できる場合のみ途中参加を認めますので、予め地区事務局経由でドナーコーディネート部までお申し出ください。
- ④前後泊必要者は個別相談とさせていただきますので、ドナーコーディネート部指導研修チームまでご連絡ください。

15 帳票変更について（コーディネーターの方へ）

12 月 9 日出力分よりドナー宛ての「担当コーディネーターのお知らせ」の帳票の文言の一部を以下のように変更しました。コーディネーターからの連絡が携帯電話からあることを想定していないドナーが多く、心当たりのない番号のため出ただけで、連絡が取れないことがあるという現場からの声を反映したものです。

<現行>

新規：「下記のコーディネーターより電話連絡をさせていただきますので」

確認検査省略のとき：「下記コーディネーターより電話にてご連絡いたします」

<変更後>

新規：「近々、下記のコーディネーターより携帯電話にてご連絡をさせていただきます…」

確認検査省略のとき：「下記コーディネーターより携帯電話にてご連絡をいただきます…」

16 連絡事項

◆ドナー休暇のための「証明書」の一部変更について

末梢血幹細胞移植の導入に伴い、ドナー休暇のための「証明書」を一部変更しました。各地区事務局の在庫がなくなり次第、随時新しいものに切り替わります。コーディネーターには、改訂後の帳票見本を今号のマンスリーJMDPに同封しています。

なお、予定通知についてはシステムの変更が必要となるため、当面は現状どおりとします。

末梢血幹細胞ドナーの予定通知については、中央事務局PB担当が手作業で差し替えて対応します。

◆「ドナー登録のしおり『チャンス』」等の送付について

末梢血幹細胞移植の導入に伴い、ドナー登録のしおり「チャンス」の内容を変更しました。採取責任医師・地区代表協力医師・調整医師の先生方・コーディネーターに今号のマンスリーJMDPに同封してお送りします。なお、コーディネーターの皆さまには、ドナー登録窓口で使用する「解説グラビア」および「ギフトオブライフ」の改訂版もお送りします。

◆年末挨拶と年末年始の休業について

本年もドナーコーディネート業務において、皆さまに多大なご尽力をいただき、ありがとうございました。来年も職員一同努力してまいり所存ですので、今後ともよろしく願い申し上げます。平成 22 年 12 月 29 日（水）～平成 23 年 1 月 3 日（月）は中央事務局・地区事務局の業務を休業させていただきます。平成 22 年も残すところあとわずかとなりました。皆さまどうぞよいお年をお迎えください。